



犬用 腎臓サポートは、慢性腎臓病の犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、リンおよびタンパク質の含有量を制限<sup>\*1,2</sup>しています。またタンパク質を制限してクエン酸を配合することにより、腎臓病にともなうシュウ酸カルシウム結石症にも配慮しています。

この食事療法食の対象



● 慢性腎臓病(CKD)(中期～後期)

食欲低下のみられる腎臓病の犬では、嗜好性の高い食事が要求されます。



● 尿酸アンモニウム結石症およびシスチン結石症

尿酸アンモニウム結石およびシスチン結石は酸性側で形成されやすい傾向があります。本製品給与時の尿pHは中性～アルカリ性であるため、これらの結石症の際の食事としてご使用いただけます。



● 腎機能低下をともなうシュウ酸カルシウム結石症

タンパク質の制限<sup>\*2</sup>やクエン酸を配合することにより腎臓病におけるカルシウム再吸収不良が疑われるシュウ酸カルシウム結石症に配慮しています。



● 高アンモニア血症を呈する肝疾患

余剰のアンモニアの発生を低減するために、アンモニアのもととなるタンパクの量を適切な量に調整した食事が推奨されます。また発酵性食物繊維が腸内細菌に利用されて生成される短鎖脂肪酸が腸管内pHを低下させ、アンモニアが吸収されにくいアンモニウムイオンになり、さらにpHの低下が腸管内輸送を促すことにより、糞便中へ排泄されることが期待できます。

※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

成分	単位/400kcal
タンパク質 <sup>*2</sup>	16.0g ↓↓
脂肪	21.1g
食物繊維	5.7g
灰分	4.6g
水分	144.2g
炭水化物	41.9g
カルシウム	0.6g
カリウム	0.80g
リン <sup>*1</sup>	0.23g ↓↓
マグネシウム	0.07g
鉄	10.76mg
銅	1.08mg
亜鉛	14.65mg
ナトリウム	0.16g ↓↓
EPA+DHA	1144mg ↑
L-カルニチン	—
タウリン	0.37g
アルギニン	1.83g
ビタミンE	66.4mg ↑
ビタミンC	—
ビタミンB群	18.11mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー … 175kcal/100g ↑



1日の給与量の目安

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	125g	195g	265g	325g	385g	440g	495g	545g	590g	640g	860g	1060g
調整範囲	最大	155g	260g	350g	430g	505g	580g	650g	715g	780g	1130g	1395g
	最小	95g	155g	210g	260g	305g	345g	390g	430g	465g	505g	680g

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。

使用が推奨されない病態等

- 妊娠/授乳期、成長期  
タンパク、リンなどが不足するため推奨されません。

原材料

豚肉、家禽<sup>\*3</sup>肉、米、家禽<sup>\*3</sup>レバー、コーンフラワー、魚油、乾燥卵白、サンフラワーオイル、セルロース、ビートパルプ、フラクトオリゴ糖、マリールーゴルドエキス(ルテイン源)、酵母エキス(マンノオリゴ糖含有)、ミネラル類(炭酸カルシウム、P、Mg、Na、K、Cl、Zn、Fe、Mn、Cu、I)、増粘多糖類、タウリン、調味料(アミノ酸等)、ビタミン類(C、コリン、E、B1、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、D3、B2、B6、葉酸、ビオチン、B12)  
\*3 鶏・七面鳥  
※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 本バラエティーにはドライタイプもあります。
- 腎臓サポートは、初期の腎臓病を含む慢性腎臓病の食事管理を想定して設計されています。この食事は、ほとんどの場合生涯にわたる給与が必要となります。
- 腎臓病の犬のために、腎臓サポートには緑茶ポリフェノールなど複数の抗活性酸素物質を配合しています。
- 初期の慢性腎臓病に適用するウェットタイプの食事療法食には、「犬用 心臓サポート」(ウェットタイプ)があります。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。